

くいやま

社協だより

令和8年(2026)年

第136号

10月



夏休み体験ボランティア ～子育て支援センター「スキップ」～

7月24日～8月6日に栗高生を対象に夏休み体験ボランティアを実施いたしました。
(関連記事P7)



社協
ホームページ



社協
Facebook

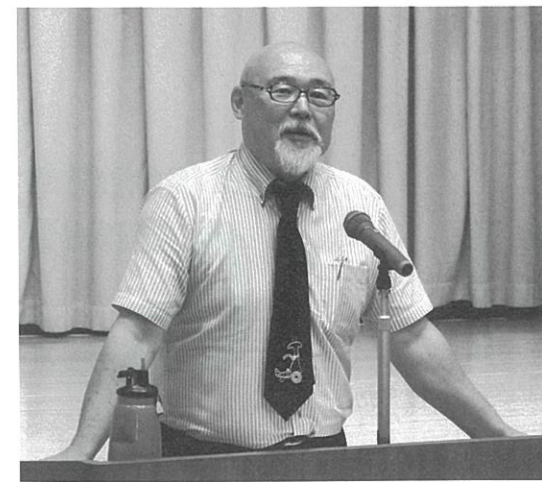


社協
Instagram

- ケアラーサポーター養成講座
更生保護女性会と
栗高女子野球部交流……………2
- 赤十字奉仕団活動
ボランティア連絡協議会加盟団体紹介3
- 令和7年度事業報告、決算……………4、5
- 令和8年度事業計画、予算……………6
- 夏休み体験ボランティア
花いっぱい運動……………7
- お知らせ等……………8

ケアラーサポーター養成講座 相手が話しやすくなる 話の聴き方のコツ

講師 北海道総合福祉研究センター
理事長 五十嵐 教行氏



9月1日、カルチャープラザ「EKT」におきまして、ケアラーサポーター養成講座（参加者52名）を開催しました。講師には、北海道総合福祉研究センター理事長の五十嵐教行氏をお招きし、講演いただきました。講演では、「相手が話しやすくなる聴き方のコツ」について具体的な会話の場面を例に挙げ、わかりやすく説明いただきました。参加者からは「お話がとても具体的でわかりやすく楽しい講演でした」と感想がありました。

信頼を得る聴き方

- ◆相手の話を最後まで聴き取ること
- ・話を早合点して、相手の言葉をさえぎらない
- ・自分の意見を伝えたり批判はしない
- ・沈黙された時は焦らず、相手が話す言葉を選んでいると理解して待つ

傾聴の姿勢

- ①うなずき
 - ・ ゆっくり、深くうなずくことで、しっかりと聴いている印象になる
- ②相づち
 - ・ 相手の話を促す相づち「うんうん、それで」「うんうん、それからどうなったの？」



栗高女子野球部へ調理支援 モルックで交流！

―栗山更生保護女性会―

9月6日、栗山更生保護女性会（以下更生）は、栗山高校女子野球部に調理支援を実施。更生は、昨年に引き続き、今年2回目の支援ですが、紹介やモルックで交流を深めることができました。栗山の喜多村正子会長は「町外から栗山に来られていて部員が多いので、家庭の味を食べて頑張ってもらいたい」と激励しておりました。



栗高女子野球部
主将 田中 凜さん
この度はお忙しい中、私たちのために豚汁とおにぎりを作ってくださり、ありがとうございました。豚汁は具が大きく、さつまいもが入っていて、とても美味しかったです。栗山更生保護女性会のみならず、食生活が豊かになり、モルックで交流を深めることができました。栗山の喜多村正子会長は「町外から栗山に来られていて部員が多いので、家庭の味を食べて頑張ってもらいたい」と激励しておりました。

災害時に出来る調理 パッククッキングの実演と試食

―栗山町赤十字奉仕団―

5月16日、栗山町赤十字奉仕団（以下奉仕団）は、栗山町の防災備蓄倉庫の一般公開にあわせて、災害時に出来る調理として、パッククッキングの実演と試食を実施。



講師には、栗山赤十字病院管理栄養士の真井睦子氏をお招きして、奉仕団員がサポート役を担いました。パッククッキングは、来場者が耐熱袋を2つ使い、それぞれカレーの具材と無洗米を入れて、炊き出し釜の沸騰したお湯に投入。

その後、防災備蓄倉庫の備蓄品を見学、防災士による防災ミニ講話で防災意識を高めている間の約20分でお米が炊き上がり、熱々のウィンナーカレーを試食され、「思った以上に美味しい」と完食されていました。



ボランティア連絡協議会加盟団体紹介

ボランティア連絡協議会は、ボランティア相互の親睦と交流を深め独自の活動を高めると共に、ボランティア精神の高揚を図ることを目的として事業を行います。

団体名	代表者名	主な活動内容
栗山更生保護女性会	会長 喜多村 正子	更生施設での食事支援協力と日用品寄贈、刑務所での誕生会参加、保護司活動・社会を明るくする運動への協力、配食サービス調理等
栗山町赤十字奉仕団	委員長 坂口 由紀子	栗山町総合防災訓練炊き出し協力、災害時の救護・救援活動研修会、献血啓蒙活動、研修視察、日赤病院受付ガイドボランティア、配食サービス調理等
栗山地区女性学級	学級長 山本 美枝子	配食サービス調理、共同募金活動の協力等 社協行事への協力等
くりやま手話の会	会長 村上 美佳	手話学習会・交流会の開催、手話普及活動、手話講座等講師派遣、手話通訳支援、社協行事や研修会への参加協力等
栗山リーディングサービス「とらいあんぐる」	会長 中村 由江	広報くりやま・議会だよりの音声訳を作成し、視覚障がいの方にCDを届け、栗山町ホームページに音声訳掲載。視覚障がいの方との交流会開催、ボラ連など社協事業への協力等
傾聴ボランティア「虹」	会長 日原 富士子	会員研修会、ケアラー支援活動、配食サービス調理、共同募金活動の協力等
（一社）栗山青年会議所	理事長 佐々木 進一	福祉施設でのボランティア活動、花いっぱい運動への協力、共同募金協力、青少年の育成事業開催、各種行事への協力等
栗山町青年団体協議会	会長 橋本 昇二郎	出前サンタ事業、会員研修会、各種行事への協力等

令和7年度社協決算

社会福祉事業 貸借対照表
令和8年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
普通預金	3,764,149	事業未払金	2,960,722
事業未収金	3,243,097	職員預り金	67,533
		賞与引当金	1,552,681
流動資産計	7,007,246	流動負債計	4,580,936
基本財産	1,000,000	固定負債(退職給付引当金)	5,030,940
車輦運搬具	3	負債の部合計	9,611,876
器具及び備品	293,760	純資産の部	
ソフトウェア	440,000	勘定科目	金額
退職給付引当資産	5,030,940	基金(地域福祉活動基金)	1,110,222
応急生活資金貸付原積立資産	752,000	国庫補助金等特別積立金	2
福祉活動積立資産	32,121,209	福祉活動積立金	32,121,209
地域福祉活動基金積立資産	1,110,222	基本財産積立金	1,000,000
応急生活資金貸付金	248,000	応急生活資金貸付積立金	1,000,000
車輦購入積立資産	410,061	車輦購入積立金	410,061
財政調整資金積立資産	11,170,164	財政調整資金積立資産	11,170,164
その他の固定資産計	51,576,359	その他の積立金計	45,701,434
		繰越金	
		次期繰越活動増減差額	3,160,071
		うち前期繰越活動増減差額	3,645,163
		うち当期活動増減差額	△5,370,232
固定資産計	52,576,359	純資産の部合計	49,971,729
資産の部合計	59,583,605	負債及び純資産の部合計	59,583,605

公益事業 貸借対照表
令和8年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
普通預金	536,921	事業未払金	986,170
事業未収金	449,249		
流動資産計	986,170	流動負債計	986,170
基本財産	0	固定負債	0
		負債の部合計	986,170
		純資産の部	
		勘定科目	金額
その他の固定資産計	525,047	その他の積立金	220,000
器具及び備品	305,047	繰越金	
その他の積立資産	220,000	次期繰越活動増減差額	305,047
		うち前期繰越活動増減差額	409,821
		うち当期活動増減差額	△584,774
固定資産計	0	純資産の部合計	525,047
資産の部合計	1,511,217	負債及び純資産の部合計	1,511,217

社会福祉事業 資金収支決算書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日(単位:円)

勘定科目	決算額
収入	
会費収入	2,732,000
分担金収入	90,000
寄附金収入	846,064
経常経費補助金収入	15,795,796
受託金収入	27,953,010
貸付事業収入	506,000
その他の収入	295,341
事業活動収入計(1)	48,218,211
支出	
人件費支出	25,383,385
事業費支出	22,034,524
事務費支出	2,081,204
貸付事業支出	335,000
助成金支出	1,476,000
事業活動支出計(2)	51,310,113
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△3,091,902
収入	
施設整備等寄附金収入	300,000
施設整備等収入計(4)	300,000
支出	
固定資産取得支出	850,000
施設整備等支出計(5)	850,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△550,000
収入	
積立資産取崩収入	5,503,000
その他の活動収入計(7)	5,503,000
支出	
基金積立資産支出	2,492
積立資産支出	1,172,520
事業区分間繰入金支出	1,262,619
その他の活動支出計(8)	2,437,631
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,065,369
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△576,533
前期末支払資金残高(11)	4,555,524
当期末支払資金残高(12)	3,978,991

公益事業 資金収支決算書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日(単位:円)

勘定科目	決算額
収入	
経常経費補助金収入	411,000
受託金収入	5,454,439
事業収入	1,060,570
その他の収入	17,710
事業活動収入計(1)	6,943,719
支出	
人件費支出	3,029,927
事業費支出	5,656,411
事業活動支出計(2)	8,686,338
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,742,619
収入	
積立資産取崩収入	700,000
事業区分間繰入金収入	1,262,619
その他の活動収入計(4)	1,962,619
支出	
積立資産支出	220,000
その他の活動支出計(5)	220,000
その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,742,619
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0

令和7年度社協事業報告

地域福祉活動事業

- ・花いっぱい運動……………花苗24,680本植栽
83町内会・自治会・団体等
- ・愛らぶ活動事業……………2町内会、12自治会
除雪・見守り対象世帯 47世帯、支援者 50名
- ・ふれあいサロン事業
……………5町内会、1町内連合会、1連合町内会
参加対象 157名、運営者 39名
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)…17件
- ・応急生活資金貸付件数……………13件
- ・生活福祉資金……………相談16件
- ・無縁仏、開拓先人供養会(トキト山、二岐、築別・円山、雨煙別)
中国人殉難者供養会実行委員会に対する援助
- ・遺族会、保護司会栗山分区支援

調査企画広報事業

- ・ふれあい広場くりやま……………200名来場
- ・社協だより発行……………3回(9、2、3月)

ボランティア活動事業

- ・夏休み体験ボランティア……………5つのメニュー
12名延べ30名
- ・ボランティア連絡協議会、手話の会、赤十字奉仕団、更生保護女性会、青年団体協議会、リーディングサービス「とらいあんぐる」、傾聴ボランティア「虹」活動支援
- ・学校ボランティア活動普及推進事業……栗山高校
- ・ちょこっとお手伝い有償ボランティア……51回
- ・ボランティア活動保険加入促進(12団体 215名加入)

青少年福祉事業

- ・青少年育成会、初級・上級リーダー研修会等
- ・スポーツ少年団本部助成

心配ごと相談事業

- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設16回、相談件数40件
- ・民生委員児童委員協議会助成

まちなかカフェ事業

- 【サンタの笑顔】
・いきいき交流プラザ 月～土曜日の9時～17時
- ・利用者 小中学生21名、一般7,358名 合計7,379名
- ・ケアラー支援推進月間(9月)
K-1ぐらんぶり(介護利用者作品展)
ミニイベント3回
- ・脳の健康教室自主サークル(毎月第2、4金曜)
- ・おしゃべりサロン(消費者協会と共催 毎週火・木曜日)
- ・町総務課DX スマホ相談(毎週水曜日)
- ・介護学生と高齢者によるお菓子作りとタブレット交流
- ・オレンジカフェ(ガーデンハウスと連携 毎月第3水曜日 4月～9月)

- 【遊歩道の駅つぎたて】
・毎週月～土曜日 9時～17時
- ・利用者 一般1,484名
- ・カフェボランティア登録者 16名

ケアラー支援事業

- ・ケアラー支援専門員活動
○相談所対応……………23件
- 電話サービス……………1,537回
- 手紙、電話、訪問………204世帯、延べ300回
- 講演会、ケアラーサポーター養成講座

高齢者/障がい者福祉事業

- ・いのちのバトン配付事業…10本配付(累計484本)
39町内会 15自治会 1連合町内会 1町内連合会
地域担当民生委員と連携、お手紙と電話で安否確認
- ・日常生活自立支援事業……………3件
- ・車いす無料貸出……………61件
- ・歩行器無料貸出……………13台
- ・ベットの無料貸出……………3件
- ・入浴補助用具無料貸出……………19件
- ・ポータブルトイレ無料貸出……………9件
- ・トイレ手すり無料貸出……………2件
- ・スロープ……………1件
- ・福祉の杖交付……………35本
- ・老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、
手をつなぐ育成会、障害者自立支援連絡協議会
活動支援

在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ・配食サービス事業
○月～金曜日の昼食……………36名延べ2,739食
(金曜日は、35名の調理ボランティアの手作り)
- 月～金曜日の夕食……………42名延べ3,398食
- ・生活支援コーディネーター事業
角田地区：ワークセンター栗の木出張販売調整
継立地区：茶の遊イベント、コーヒー講座
日出地区：移動販売車が本格運用(5月から毎週)
- ・除雪サービス事業……………玄関前202世帯
排雪、屋根の雪下ろし17世帯
- ・障害者移動支援事業……………延べ291回

- ・カフェボランティア
(更生保護女性会、赤十字奉仕団、傾聴ボランティア「虹」、栗山地区女性学級、リーディングサービス「とらいあんぐる」)
- 【かくた】
・角田改善センター 毎週金曜日の13時～16時
- ・利用者 一般958名
- ・カフェボランティア登録者22名(4班体制)
- ・いきいき百歳体操(毎週)
- ・ワークセンター栗の木出張パン販売(毎週)
- ・FMくりやま公開収録
- ・地域食堂と栗高女子野球部交流
- ・タブレット体験講座4回、お化粧講座
- ・介護福祉学生との交流会等

- ・タブレット交流 12回
- ・スマホ相談 11回
- ・地域食堂 3回
- ・茶の遊イベント 3回
- ・コーヒー講座 2回
- ・脳の健康教室 11回
- ・健康麻雀 91回
- ・運動教室 5回等

夏休み体験ボランティア

7月24日～8月6日までの期間、夏休み体験ボランティアを実施し、栗山高校から12名(延べ26名)が参加されました。

体験は、児童センター、子育て支援センター「スキップ」、ペットボトルキャップ・リングプル異物選別作業、いきいき交流プラザ「サンタの笑顔」でタブレット交流の4つのメニューに参加がありました。



タブレット交流



児童センター



子育て支援センター「スキップ」

第50回花いっぱい運動

5月31日、83の町内会・自治会や関係団体のご協力により、第50回「花いっぱい運動」を実施いたしました。

公園や街路樹に24,850本の花が植えられました。



令和8年度社協事業計画・予算

地域で支え合うつながりづくり

単身・高齢世帯の増加や、経済的背景による社会的孤立を防ぐため、「命のバトン配布事業」「まちなかカフェ」「ふれあいサロン」を継続し、対面での交流を軸とした見守り活動を強化します。

また、ケアラー支援や訪問活動、愛らぶ活動、花いっぱい運動を通じて、町内会や自治会、民生委員児童委員、老人クラブ等との連携をさらに深め、誰一人取り残さない地域ネットワークの構築に努めます。

人や地域を育てる仕組みづくり

多様化する福祉課題への対応力を持った担い手を育成します。「ケアラーサポーター養成講座」や「生活支援有償ボランティア」の構築・育成を継続し、住民が活動に参加するきっかけづくりを強化します。ボランティア連絡協議会等との連携を強め、次世代の担い手である学生への啓発活動も進めることで、社協職員がすべてを担うのではなく、「住民と共に動く」仕組みを確立し、地域全体の福祉力を底上げします。

安心して暮らせる地域づくり

ケアラーや認知症、精神障がい等、潜在化しやすいニーズに対して、行政や関係機関との多職種連携を通じたアセスメント機能の強化を図ります。

訪問活動を通じた丁寧な「課題の把握」を継続しつつ、日常生活自立支援 事業や貸付事業を適切に運用し、セーフティネットの堅持に努めます。一人ひとりに寄り添った相談支援体制を事業の充実とともに推進し、誰もが安心して暮らせる環境を整えます。

地域福祉を推進する社協づくり

社会福祉協議会が地域福祉の中核を担う組織として、変化する社会情勢に即応できるよう専門性の向上を図ります。町内会、行政、NPO、教育機関、民間企業等との協働をさらに加速させ、地域全体の「福祉力」を高めるためのプラットフォーム機能を強化します。透明性の高い組織運営を行い、住民の信頼に応える持続可能な社協経営を推進してまいります。

社会福祉事業 資金収支予算書

(自)令和8年4月1日 (至)令和9年3月31日

		(単位:円)
勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	2,730,000
	分担金収入	90,000
	寄附金収入	1,000,000
	経常経費補助金収入	19,420,000
	受託金収入	35,629,000
	貸付事業収入	1,300,000
	その他の収入	185,000
	事業活動収入計(1)	60,354,000
	支出	
	人件費支出	29,433,000
	事業費支出	29,615,000
	事務費支出	3,129,000
	貸付事業支出	1,300,000
	助成金支出	1,654,000
	事業活動支出計(2)	65,131,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△4,777,000
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	6,970,000
	サービス区分間繰入金収入	1,843,000
	その他の活動収入計(4)	8,813,000
	支出	
	積立資産支出	1,343,000
	事業区分間繰入金支出	750,000
	サービス区分間繰入金支出	1,843,000
	その他の活動支出計(5)	3,936,000
	その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	4,877,000
予備費支出(7)		100,000
当期末支払資金残高(8)=(3)+(6)-(7)		0

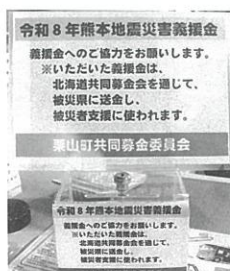
公益事業 資金収支予算書

(自)令和8年4月1日 (至)令和9年3月31日

		(単位:円)
勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	
	経常経費補助金収入	1,650,000
	受託金収入	5,777,000
	事業収入	1,300,000
	その他の収入	30,000
	事業活動収入計(1)	8,757,000
	支出	
	人件費支出	3,181,000
	事業費支出	6,546,000
	事業活動支出計(2)	9,727,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△970,000
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	220,000
	事業区分間繰入金収入	750,000
	その他の活動収入計(4)	970,000
	支出	
	その他の活動支出計(5)	0
	その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	970,000
当期末支払資金残高(7)=(3)+(6)		0

令和 8 年熊本地震災害義援金の募集

栗山町共同募金委員会



○募金箱設置場所

- ・社会福祉協議会窓口
- ・いきいき交流プラザ「サンタの笑顔」窓口

○募金箱設置期間

8月4日～10月末日まで(予定)
義援金へのご協力をお願いします。

※いただいた義援金は、
北海道共同募金会を通じて、
被災県に送金し、
被災者支援に使われます。

ボランティアの水分補給に現物寄贈 —イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン—

社協は、令和4年より「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の団体登録をさせていただき、夏休み体験ボランティアに参加する栗高生やケアラーサポーター（ボランティア）の訪問活動時の水分補給等に現物の寄贈をいただいております。

※イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の「イオン・デー」に買物時に受け取られた黄色いレシートを店内備え付けのボックスに投函していただくことで、レシート合計金額の1%分の品物を寄贈される取り組みです。



イオン黄色いレシート専用ボックス
(マックスバリュ栗山店)

ご厚志ありがとうございます

令和8年2月9日以降令和8年9月7日までに
お寄せいただいた方

●金一封

栗山菊花好友会 様より 社会福祉事業へ
中 島 哲 様 (由仁町) より
母の逝去に際して
山 本 進 様 (角 田) より
母の逝去に際して
吉 田 礼 子 様 (中央3) より
社会福祉事業へ

●物品

小坂 仁志 様 (富 士) より 車いす1台
社会福祉協議会 福祉用具無料貸出事業へ
栗山町老人クラブ連合会 様より 歩行車1台
社会福祉協議会 福祉用具無料貸出事業へ

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります

令和 8 年10月 1 日発行(第136号)

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、
赤い羽根共同募金
の助成を受けて、
作成しています

銘。た。樂。タ。レ。お。良。学。野。な。で。に。お。ボ。卒。ア。今年
を。し。ッ。の。い。所。が。部。た。が。動。話。ン。生。は。の
受。ど。チ。の。に。を。ハ。へ。に。を。テ。が。の
け。う。す。は。に。を。ハ。へ。に。を。テ。が。の
ら。も。交。る。チ。援。ハ。調。生。も。動。く。ア。事。年。休
事。積。流。な。の。キ。理。保。印。し。れ。と。活。の。ま。み
で。極。さ。ど。ム。声。モ。と。支。護。象。て。て。動。休。で。体
的。な。盛。ん。や。ク。と。交。会。し。た。な。て。感。し。り。
行。動。に。ま。が。ハ。い。は。身。で。女。子。う。と。
感。し。り。イ。ブ。地。は、

編
集
後
記